

ご報告

大会は約300名の参加を得て、終了しました。

有意義な研究大会であったと、終了後の会で総括がありました。

またご後援いただいた大分合同新聞では以下のような記事を掲載してくださり、心から感謝申し上げ、ご紹介いたします。

簡単な在宅リハ

2日、大分市でリハビリ学会

「バイオフィリア リハビリテーション学会第七回大会」（大会会長、岡本雄三岡本病院理事長＝三重町）が八月二日午前十二時から大分市の県医師会館で開かれる。岡本理事長は基調講演「在宅重度身体障害者訪問診療から在宅リハへの提言」を行う。午後二時十分から公開市民講座（無料）がある。

岡本病院理事長が基調講演



岡本雄三理事長

神奈川県藤沢市の理学療法士、滝沢恭子さんが「タキザワ式」のリハビリの手法に、タキザワ式リハプロで運動をすると、寝たきりがある。足踏みなどの歩行の30%が何らかの歩行を再現した。

「タキザワ式」お勧め

バイオフィリア リハビリテーション学会のポスター



バイオフィリア リハビリテーション学会
第7回大会
期：平成15年8月2日（金）12時～17時
場：大分県医師会館
〒870-0011 大分市1-1-1

「タキザワ式」お勧め

介護・依存から自立が 動向、福祉用具の利用環境、長寿社会へのアプローチが充足、活動を重ねる中で、ギリシャ語のバイオ（生命）とフィリア（愛）の講演がある。研究発表を組み合わせたNPO法もある。

バイオフィリア リハ 大会についての問い合わせは岡本病院内、大会事務局（☎0974・22・0018）が応じています。

ちのリハを模索する中で、タキザワ式リハを知り、藤沢市まで出掛けて研修、自院を中心に、安価で手軽に、誰でもできるリハとして、タキザワ、コロコロを推し進めている。

大会ではタキザワプログラムについて、県外のタキザワを付けて動かす「コロコロ」という器具など、効果判定の試みなどについて研究発表がある。

公開市民講座は、三重町在宅介護支援センター、長の田島昭二さんが司会。医療福祉技術の研究